

令和元年8月28日

令和元年度第1回
いわき市食育推進協議部会議事録

令和元年度第1回いわき市食育推進協議部会 議事録

- 1 開催日時： 令和元年8月28日（金）14：15 ～ 15：45
- 2 開催場所： 総合保健福祉センター 3階 社会復帰会議室
- 3 報告事項及び発言内容等

① 第3次いわき市食育推進計画の策定について

部会長	はじめに、「第3次いわき市食育推進計画について」事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>(第3次いわき市食育推進計画について説明)</p> <p>○会議資料1-1、1-2により 計画策定の経過、第2次計画の概要、第2次計画の取り組みの結果・第3次計画に向けた課題、第3次計画の重要点について説明。</p> <p>また、第3次計画について市民への周知のため、概要版を作成したことについて説明。</p>
部会長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)

② 令和元年度地域保健課新規事業について

部会長	続いて、「令和元年度地域保健課新規事業について」事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>(令和元年度地域保健課新規事業について説明)</p> <p>○会議資料2に基づき 事業の目的、対象者、事業目標、事業内容、評価方法について説明。</p> <p>また、いわき海星高校のほかに遠野高校でも実施予定。</p>
部会長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。

委員 E	経年で取り組むと聞いたが、いわき海星高校と遠野高校は統合の対象だが、なぜこの2校を選定したのか。
事務局	年度当初県立高校の校長会で案内をし、手を挙げていただいた高校の中から選定した。 今後、他の学校でも実施を考えている。
部会長	人数の問題もあったのではないか。
事務局	講話だけなら大規模な学校、複数学年を対象とできるが、演習もあるため、演習が可能な規模の学校から手を挙げていただき、選定した。 また、昨年度、別事業で総合高校の一学年約200人を対象に講話を実施した。
部会長	第3次計画を策定し、手始めにというところもあるのでは。学生の反応を見ながら、規模を大きくできたらいいのでは。
委員 G	アンケート実施にあたり、男女の差はどう考えるのか。
事務局	未決定だが、アンケートのファストフードの摂取状況等の項目で、男女で差が顕著にみられるのであれば、整理をしたいと考える。
委員 L	今年、総合高校では、いわきの食文化というテーマで、海星高校では、包丁の使い方、魚のさばき方をテーマに講話を実施。 総合高校では、魚は好きだが、種類は分からないといったような生徒が多く見られた。唯一分かるのはさんま。 いわき海星高校では、クラブ活動の一環として実施。缶詰などを作る科は包丁の使い方が上手。その他の科は、魚を触ったことがない学生が多かった。 高校生には目を付けていきたい。また、30代、40代主婦にどうすれば魚を食べてもらえるかを考えている。

③ 令和元年度食育関連事務事業等調査について

部会長	続いて、令和元年度食育関連事務事業等調査について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(令和元年度食育関連事務事業等調査について説明) ○会議資料3-1、3-2、3-3により 本市の消費生活センターにて策定した消費者教育推進計画について、食育推進計画との関わりについて説明。 7月に本市の関係部署および、福島県の食育関係部署に対し行った、担当部署で所掌している食育関連事業に関する調査結果について、本市の所掌事業の内、今年度から実施する新規事業、継続事業の今年度の変更点について説明。

委員 D	<p>○会議資料 3-1 により</p> <p>食育実践サポーター派遣事業について、事業概要、平成 30 年度事業実績、令和元年度実施予定事業について説明。</p> <p>食農応援メニューについて、磐城農業高校と連携し、いわきワイナリー等の視察をしていただき、農業に関する知識を深めていただいた。</p> <p>ふくしまの農育推進事業、学校給食等地産地消推進事業について、事業概要、令和元年度実施予定事業について説明。</p>
部会長	事務局及び倉沢委員からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)

④ その他

部会長	続いて、各委員より日頃の所属団体での活動、食育に対する考えについて報告をお願いします。
委員 C	いわき地区生活研究グループ連絡協議会は、農家の方の集まりであり、安心・安全な加工品、野菜を直売所にて販売している。県の集まりの際に、福島市の方より「いわき市は放射性物質は大丈夫か」と聞かれ、いわきの食材が安心ではないと、風評被害があることを実感した。風評を払しょくするため、来年の全国大会で頑張りたい。地場の農産物を学校関係で使っていただきたい。
委員 D	福島県では、県内の農産物の安心・安全について消費者への正確な情報の発信に努めている。いわき産の山菜・きのこの出荷制限がかかっているものはいわき市や関係機関と共同で、市場に出ないように対策を講じている。市場に出ているものについては、定期的にモニタリング調査を実施し、基準値以下であることを確認し、県のホームページや、広報紙、キャンペーン等で消費者へ情報発信している。若い世代に地元産の食材に親んでいただく機会を増やしていきたいと考えている。
委員 E	<p>小中学校における食育の目的は 3 つ</p> <p>一つ目は、食を通じて地域理解を図ること</p> <p>二つ目は、食文化の継承</p> <p>三つ目は、自然の恵み、勤労の大切さ</p> <p>現状の課題は 3 つ</p> <p>一つ目は、子どもの体に関すること</p> <p>食物アレルギー、肥満など。</p> <p>二つ目は、環境（家庭）格差が大きくなっていること</p> <p>家庭環境によって、食育に関する課題が個人によって格差が</p>

	<p>大きくなっている。孤食など。</p> <p>三つ目は、教育を取り巻く環境</p> <p>教育が多様化している中、学校でなければ行えないもの、地域家庭と学校が共同して行うもの、地域家庭に任せるもの、この三つに分け、精選して取り組むことが、子どもたちに沿った教育をする上で、大事である。食育は、まずは家庭で取り組んでいただきたい。学校への期待が大きすぎる。</p>
委員 F	<p>子どもが7月のいわき市の食育に関するイベントに参加したが、食への関心、食品の安心・安全を考える第一歩となったように感じた。子供にとっては食育の理解は難しい。体験することが大切である。今後も母親目線で食育を考えていきたい。</p>
委員 I	<p>食育に関するイベントを開催したいが、誰に依頼をしていいかわからないため、開催することが難しいことがある。食育に関するイベントの案内があれば、PTA 主催でイベントを開くことも可能。</p>
委員 J	<p>小児の口腔機能発達不全症、高齢者の口腔機能低下症の二つの病気が保険適用になった。食べるという機能が、小児から高齢者まで維持できるよう、支援することが歯科医の責務の一つと国に認められたと言える。日本歯科医師会でも、食育には力を入れていて、ホームページ上で食育の大切さを発信している。委員の方々と連携して食育に取り組んでいきたい。</p>
委員 K	<p>磐城農業高校では食育推進コーディネーター制度があり、生徒へのアンケート調査、食育の推進等を行っている。</p> <p>生徒がテーマを決めて行う課題研究では、地産地消で加工品を作る取組を行っている。いわきの地場産物を知らない生徒が多い。研究を通して、理解を深め、食育の推進をしている。</p>
委員 L	<p>月に2回、文化センターやアクアマリンにて魚のさばき方教室を行っている。魚の美味しさを伝えるのが私たちの使命であり、子どもたちへの魚の食べ方の普及について取り組んでいる。いわき沖はすばらしい漁場である。いわき市民には誇りに思っていたきたい。いわきで水揚げされるものは、全て放射能検査を行っているため、安全。いわきでは約200種類が水揚げされ、季節ごとの脂の乗りなどの変化がある食材であるということを学生に伝えている。</p>

委員 O	<p>息子が魚を食べないが、年を重ねるにつれて、食べられるようになりつつある。くだものマルシェというイベントに参加したが、そのような食育に関するイベントに子どもたちを参加させられるよう、学校の協力を得ながら、努めている。親としても食に対する考えを見つめ直し、食に関する正しい情報を伝達していきたい。</p>
委員 Q	<p>当園で前年度、食に関するアンケートを行い、家庭環境がより複雑になり、子どもが孤食になっている現状が分かった。当園の機能を最大限活用し、支援の一助となれるよう今後とも取り組んでいきたい。</p>
委員 R	<p>各保育所で、年間保育計画の中に食育に関しても立案し、取り組んでいる。小中学校と同じように保育所でも教育が多様化しているため、家庭と連携して取り組むことが重要であり、今後も力を入れ取り組んでいく。フッ化物洗口事業は、現在 20 施設で実施。フッ素に対する悪いイメージがあるのか、実施施設数が伸び悩んでいる。データを取り、効果について検証することで、実施施設が増えると考えている。</p> <p>また、保育所の自園調理を守る活動も行っている。特区の一部で3歳以上児に外部搬入が行われているが、対象が広がることのないよう活動をしている。調理員とのコミュニケーションを取り、現場を見ながら、給食を食べる環境を守っていきたい。</p>
委員 S	<p>子育て世代と高齢者の食育に携わっているが、高齢者もメタボ対策として、ベジファーストに取り組んでいるといった話を聞く。高齢者には低栄養予防のため、まずは肉や魚のようなタンパク質を摂った上で、野菜を食べよう指導している。</p> <p>子育て世代を対象とした事業にて、親から「自分は朝食抜きで育てられていたが、何も問題がないので、朝食抜きでも問題ない。」といった声が聞かれる。朝ごはんの大切さを説明、指導している。子どもの食生活は母親の影響が強いため、いきいき健やか食育教室のような取り組みは高校生からでは遅い。子どもが小さい頃から取り組んでいけば、親の行動変容にもつながるのではないかと考える。</p>
部会長	<p>いわき市健康推進協議会として、計画書、概要版にも記載があるように、6地区に分かれ、毎月19日の食育の日にはスーパーの店頭にてリーフレットを配布したり、地域保健課と共同で育成支援研修会を開催し、食や健康の新しい知識を得ている。</p> <p>また、料理教室や運動教室を開催し、学んだことを生活の中で実践し、自立して健康で生活できるよう活動している。子どもから高齢者まで、生涯に渡る食育の推進をし、地域に根差した健康づくりに取り組んでいきたい。委員の方々には自分たち</p>

	の立場、できることを意識した上で、それぞれの立場で食育の推進に取り組んでいただきたい。
委員L	9月から久ノ浜港でも試験操業が始まり、いわき産の魚が今まで以上にスーパーに並ぶことになると思う。ぜひ食べていただきたい。
部会長	その他として、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)
部会長	その他として、事務局で何かあれば発言をお願いします。
事務局	次回本部会は2月上旬頃開催予定。 11/9(土)開催の食育講演会、10/9(水)開催の生活衛生課主催の食の安全フォーラムについて周知。
部会長	他になければ、本日の案件はすべて終了いたしました。 御協力ありがとうございました。
	(部会終了)